

# 塩竈市議会だより

## 令和元年 9月定例会号

- 議案審議の概要  
常任委員長報告 P 2
- 平成30年度決算審査 P 3
- 討論 P 4
- 施政方針に対する質問 P 5~9
- 議案等賛否一覧表等 P10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Dec.2019 (令和元年12月)  
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>



【塩竈市議会HP QRコード】  
市議会の情報は市議会HPでご覧になれます。



## 定例会のあらまし

令和元年9月定例会は、9月30日から10月17日までの18日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、まず、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、平成30年度決算については決算特別委員会に、その他の議案については、所管の常任委員会に付託しました。また、人事案件3件が上程され、即日審議の上、同意しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案の審査を行いました。

決算特別委員会は4日間開催し、付託した決算の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が施政方針に対する質問を行い、市長の見解をいただきました。

最終日には、各常任委員長及び決算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案10件を可決、決算及び関連議案3件を可決及び認定し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

### 定例会会議日程

本会議

9月30日 会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件審議及び採決

10月2日 施政方針に対する質問

10月3日 施政方針に対する質問

委員会

10月4日 平成30年度決算特別委員会

10月7日 総務教育常任委員会

10月8日 民生常任委員会

10月9日 産業建設常任委員会

10月10日 平成30年度決算特別委員会

10月11日 平成30年度決算特別委員会

10月15日 平成30年度決算特別委員会

10月16日 議会運営委員会

本会議

10月17日 各常任委員会委員長報告、平成30年度決算特別委員会委員長報告、議案審議及び採決

# 8796万5千円の増額補正予算を可決

9月定例会における一般・特別会計の補正予算総額は8796万5千円で、補正後の予算総額は518億9292万5千円となりました。主な事業は次のとおりです。

## 一般会計

### 【補正額5328万4千円】

- 長期総合計画策定事業（第6次長期総合計画の策定に向けた業務委託）  
（補正額996万8千円）
- 自治体ポイント活用事業（自治体ポイント活用事業実施のための準備）



基礎調査がおこなわれる第一小学校（小学校長寿命化改良事業）

- （補正額280万8千円）
- 賦課徴収事業（固定資産の評価替えのための鑑定業務委託）  
（補正額275万3千円）
- 建築行政総務費（危険ブロック塀除去後のフェンス設置等への追加支援）  
（補正額140万円）
- 公園街路維持管理費（危険木伐採のための費用）  
（補正額650万円）
- 消防施設等整備事業（塩竈消防団北部分団器具置場の移設整備）  
（補正額2800万円）
- 小学校長寿命化改良事業（第一小学校施設改修に向けた基礎調査を実施）  
（補正額185万5千円）
- 債務負担行為3件など

## 特別会計

### 【補正額3468万1千円】

- 介護保険事業  
（補正額2957万9千円）
- 後期高齢者医療事業  
（補正額510万2千円）

## 条例

「塩竈市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例」外5件可決。

## 常任委員長

# 報告

9月定例会において、議案10件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



### 総務教育常任委員会

委員長 志子田 吉 晃

○議案第62号、第65号及び第66号、第69号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 「一般会計補正予算要請意見」

○長期総合計画策定事業は、長期総合計画審議会や市民懇談会等の実施に当たっては、「老壮青」の幅広い意見を取り入れると伴に委員の選定に当たっては、塩竈市の将来へのビジョンを有する人材の選定に留意されたい。また、現計画では、当初の計画と成果との乖離が見られる例もあることから、第6次長期総合計

画の策定に当たっては、計画期間の検証等、社会情勢の変化に合せ、柔軟に見直し等が図られるよう検討されたい。

○自治体ポイント活用事業は、パソコン操作に不慣れな方等にも分かりやすく丁寧な対応に努められたい。

○塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館管理運営業務委託は、次期指定管理者の選定に当たっては、多くの団体から応募があるよう仕様を検討されたい。また、将来的には、生涯学習施設を一体とした指定管理者制度の導入の可能性を検討されたい。



### 民生常任委員会

委員長 阿 部 かほる

○議案第60号及び第61号、第67号及び第68号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「塩竈市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例」についての要請意見

○災害援護資金貸付金については、条例の改正により災害等やむを得ない理由によって償還金を支払うことが著しく困難であると認められる場合

等に償還の猶予が可能となるが、償還の相談に当たっては、償還金の支払いの観点からだけではなく、生活状況の把握に努められ、ケースワーカー等の福祉部門の職員と連携するなど、より一層きめ細かな対応を行われたい。



### 産業建設常任委員会

委員長 山 本 進

○議案第63号及び第64号、第66号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 「一般会計補正予算要請意見」

○公園街路維持管理費は、倒木の危険性が高い樹木の伐採を行うが、全国的に災害による倒木被害が多数あり、安全点検をさらに強化されたい。また、民有地の危険な樹木は、所有者に対する事故防止の理解が図られるよう、指導と助言に努められたい。

○建築行政総務費は、危険ブロック塀等除去事業の追加支援策であるが、ブロック塀の経年劣化の進行や自然災害による倒壊等の新たな危険性が懸念されることから、引き続き児童生徒を始め、市民の安全確保のため対処されたい。

## 平成30年度

### 一般・特別・企業会計決算を認定

平成30年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置した「平成30年度決算特別委員会」は10月4日に開会され、初日に正副委員長互選を行い、委員長に小野幸男委員、副委員長に阿部眞喜委員を選出しました。同委員会は4日間にかつる審査の結果、いずれも認定すべきものと決しました。

本会議4日目に決算特別委員長報告を受け、採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員報告及び決算特別委員会委員長報告は次のとおりです。

#### 監査委員報告概要

##### 各会計とも適正と認める

一般会計及び各特別会計 歳入歳出決算の審査の結果、決算書等がいずれも法令に準拠して作成されており、諸帳簿・電算財務会計と照合し、計数も正確である。

また、各会計の予算執行も良好なものと認められた。一般会計の決算収支、実質収支、単年度収支額は黒字決算となっている。普通会計は、経常収支比率と実質収支比率は悪化した。財政力指数は変わらず、公債費比率は改善された。震災復旧復興事業の繰越額が依然として多額であり、早

期完成に向けた事業執行とともに、住民福祉の向上等に一層の努力を願う。特別会計10事業の決算の歳入歳出額、実質収支額は黒字となった。病院事業会計は、総収益と総費用の収支差額が黒字決算だが、一般会計から繰り入れを増額したものであり、今後も新改革プランの目標達成を期待する。水道事業会計は、総収益と総費用の収支差額が黒字決算である。今後も健全経営を維持し、低廉な水の安定供給されたい。

### 決算特別委員会 委員長報告

#### ▼一般会計

◎1000円バス等の空白地域やデマンドタクシーの導入、運転免許証返納者への支援策等、市民ニーズに対応した施策を展開されたい。

◎防犯対策事業では、空家等の適正な管理に関する条例の制定を検討されたい。

◎児童虐待・DV防止スパービジョン事業では、事業の横断的な取組による早期発見・防止に努められたい。

◎再資源化対策事業でのリサイクルの「見える化」を実施し、リサイクル率の向上を図られたい。

◎ごみ処理事業の各種業務委託契約の積算根拠を点検し、適正な契約に努められたい。

◎子育て・三世帯同居近居住宅取得支援事業は、晩婚化等に対応した補助対象者の拡大や市内居住者の転出を抑制する取組を検討されたい。

◎私道等整備補助金交付事業は補助率の増加等により、住環境の向上を図られたい。

◎旅客ターミナル管理運営事業

業は、重要業績評価指標の設定による事業検証し、指定管理者に対する一層の効果的な運営支援を図られたい。

#### ▼特別会計

◎各特別会計の経費は経営に伴う収入を以て充てることが原則であり、繰入金によらない運営に努められたい。

なお、一般会計から繰り入れる場合は、経費の基準と使途を明確に説明されたい。

◎国民健康保険事業特別会計において、保険者努力支援制度が実施され、特定健診の受診率等の向上が期待されるが、収納対策強化等が危惧され、適正な取組を行われたい。

◎魚市場事業特別会計は、新たな施設の経費が上昇しており、水揚げ増加対策に努められたい。また、卸売市場法改正の影響への危機感を持って、卸売機関の組織強化への支援を行い、さらに塩釜水産物仲卸市場と連携した魚市場の機能強化を研究されたい。

◎介護保険事業特別会計は、地域支援事業（任意事業）では、利用者への補助の拡大等、経済的負担の軽減を図る取組を検討されたい。

地域支援事業（介護予防・生活支援サービス事業）は、事

業者の確保の継続と新たな団体の育成も取り組まれたい。

◎下水道事業特別会計は、下水道使用料の本市の特性を周知する取組をされるとともに、企業会計への移行にあっては、民負担の軽減に資する取組に努められたい。

北浜地区区画整理関連下水道事業は、契約変更の理由等、議会へ丁寧説明されたい。

▼企業会計

◎市立病院事業会計は、人件費や病床利用率等の傾向を検証されたい。

また、現行の施設を最大限に合理的に生かし、さらに市立病院での病児・病後児保育事業の実現の可能性について、検討を深められたい。



平成30年度決算特別委員会委員長報告

討 論

10月17日の本会議において  
討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

議案第66号

**反対討論** 議案第66号のうち、自治体ポイント活用事業は、消費税率引き上げに伴う負担軽減策として2020年の7月からマイナンバーカードを活用した消費活性化策として実施するものであり、景気反

動減対策として位置づけながらも、プレミアムを付与することで、安全性等に懸念も多

く普及が進まないマイナンバーカードの普及促進を図る目的で、本事業が行われるということは明らかである。

また、制度を利用するには、手続が大変煩雑であり、手続が難しい方やマイナンバーカードを持たない個人は利用できず、さらに、支払いが現金のみの小規模な店舗等は、制度への参加が難しく、限られた市民や事業者しか利用できない制度設計は、問題である。

本市のマイナンバーカードの交付率は、平成30年度末で約14%にとどまり、全国的に

も約13%と全く伸びておらず、多くの市民はマイナンバーカードの必要性を感じていない。国は、多額の予算を使い、自治体のマイナンバーカードの活用策を進め国民がマイナンバーカードを使わざるを得ない仕組みをつくり上げ、個人情報漏えいやカードの紛失等様々な問題が指摘され普及しないマイナンバーカードの普及を進めようということ自体が、大きな問題である。

以上のことから反対する。

**賛成討論** 議案第66号は、新たなまちづくりの方向性を定める第6次長期総合計画の作

成のための事業費などを計上するものである。

自治体ポイント活用事業については、現在、国では消費税率引き上げに伴う消費の反動減対策として、マイナンバーカードを活用し、自治体ポイントによる消費活性化策を実施することとしており、本市としまして、その対応に向けた準備に取り組みものである。

自治体ポイントの利用環境を整えるための店舗の募集や自治体ポイントを使って全国の名産品を買うことができる「通販サイト「めいぶつチョイス」へ参加や市民の方々が自

治体ポイントの活用をする際に必要となるマイキーIDの設定の支援を行うものであり、市民の皆様の生活の負担軽減となるように環境を整えるための重要な事業であることか

ら、反対する理由は何物もないと考えるものである。

反対する会派の方々は、マイナンバーカード制度に反対であることのみを理由に、補正予算の全体を否定しており、補正予算の中には、危険ブロック等除去事業など少しでも早く進めるべき事業もある。

以上のことから賛成する。

認定第1号

**反対討論** 塩竈市公共施設再配置計画は、現政権が進めようとするスマート自治体の具

体化であり、公共施設の統合・削減・譲渡と市職員の削減が行われることになる。

マイナンバーカードが保険証として使えるようになれば、診療情報や薬剤の情報等の漏えい等の危険性がある。

宮城県滞納整理機構は、徴税のために人権を無視した競売等を行っている。すでに脱退している自治体もあり、本

市も見直す時期と考える。

第4次塩竈市行財政改革推進計画は、無駄を省いて、必要な事業を行うために財政を立て直すことは必要だが、行き過ぎた行財政改革により地域経済や市民の暮らしの底が抜けた状況になっては、身も蓋もない。貴重な財源を市民の福祉、産業支援等に再配分することが塩竈市再生の力になると確信する。

介護保険事業は、自立支援を重点化し、介護保険をできるだけ利用しない状況にしていくことが進められている。

また、介護保険料等の実効性のある減免の実施を求める。

後期高齢者医療事業は、特例措置の段階的廃止が行われ自己負担を2割にしようとしている。介護、後期高齢者医療制度のこれ以上の改悪をしないことを国に要望することこそ自治体の役割と考える。

以上のことから反対する。

**賛成討論** 一般会計の決算規模は200億円台で東日本大震災前の水準に戻りつつあり、平成30年度決算は第5次長期総合計画、震災復興計画の総仕上げを行う3年のスタート

となる重要な1年として、目標達成に向けた取り組みだ。

塩竈アフタースクール事業や子育て・三世同居近居住宅取得支援事業を創設するなど子育て支援や定住促進等にしっかり取り組んだ。また、国民健康保険税の引き下げも実施した。小規模事業者サポート事業を実施し、販路開拓や業務効率化を支援された。

震災復興計画における各種施策も積極的に取り組む、執行状況は90・2%に達した。ふれあいサポートセンター運営業務委託を継続する等被災

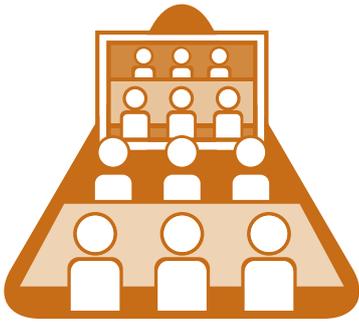
者に寄り添った支援に引き続き取り組んだ。産業・経済の復興では、震災復興市街地再開発事業において中心市街地の整備が促進されている。浦戸地区では防潮堤等の復旧が図られるなど生活となりわいの復興が進んでいる。

決算指標は、各種健全化判断比率は前健全団体の水準が維持されている。さまざまな施策を推進する中にも、確実な財政運営が進められてきた結果であり評価に値する

と考える。

以上のことから賛成する。

# 施政方針 に対する質問



施政方針に対する質問は、10月2日、3日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



公明党  
菅原善幸

## 特別の教科道徳は

**議員** 市政運営の基本方針には、新しい学習指導要領がスタートし、来年度からは小学校で、再来年度からは、中学校でこれまでの道徳が「特別の教科道徳」として生まれ変わる。

子供たちには、考える道徳、議論する道徳として、他者と意見を交換しながら、自分の生き方についての考えを深めてもらいたいとあるが、どのように取り組まれるのか伺いたい。

また、この背景には「いじめ問題」があると考える。

特別の教科道徳を通して「いじめ問題」にも更なる取組を期待するが見解を伺いたい。

**教育長** 特別の教科道徳については、小学校では去年から中学校では本年度から既に実施を進めているところである。道徳教育というのは、一つの



道徳の教科書（出典：文部科学省資料「私たちの道徳」）

教科の授業として行うものではなく、道徳という教科を要として、教育課程全体を通して指導を行うものである。

また、教員の免許には、道徳科という教員免許がないことから、通常、各学級担任が道徳の授業を受け持つことから特別な教科という言い方をしている。

## 人材バンク制度は

**議員** 国が進めている道路や橋などのインフラの維持管理に関する市町村の業務を支援するため、国土交通省では、これまで培った知見を生かし、

技術関係職員の確保に悩む市町村でインフラの更新や老朽化対策に当たってもらうための土木職をはじめとした、国家公務員のOB等の人材バンク制度について検討されていると聞いたことがある。

本市としても、健康寿命の延伸に様々な経歴や技術をお持ちの高齢の方を対象にした人材バンク制度の創設について検討するところがあるがどのような人材バンク制度なのか見解を伺いたい。

**市長** 人材バンク制度については、様々な経歴や特技をお持ちの高齢の方々が対象に登録いただくものであり、登録いただいた方がこれまでの豊富な経験を生かして地域社会の要望に貢献いただくことによって高齢の方々がやりがいを持ち生き生きと暮らせるまちづくりを進めるものである。既存の組織や機材の充実、また、新たな仕組みを設けるべきか等他自治体の事例の調査や本市にとって適切な制度を今後、検討してまいりたい。

その他の質問項目

- ① 幼児教育・保育の無償化は
  - ② ウォーキングポイントは
  - ③ 公民連携デスクは
- など



公明党  
浅野敏江

## コンパクトシティ 塩竈は

**議員** 「コンパクトシティ塩竈」について伺いたい。

本市は18km未満の限られた地域に約5万4千人が暮らす都市機能を有した利便性の高い街ではあるが、急な坂道、車の進入が困難な道路、高台にも多くの住居があるため、特に、高齢者世帯は日常生活に支障をきたしている。移動手段に対する要望も多い。

市長は、これらの課題を解決するために、民間の力を取り入れた新たな視点でまちづくりを進めるとされているが、具体的な考え方を伺いたい。

**市長** 本市では、路線バスの空白地区を解消するためNEWしおナビ100円バスの運行に取り組んできた。これまでに、半径300メートル圏を基準にバス停を配置してきているが、坂道が多いことなどから、負担を感じる高齢の方



しおがま子育て支援センターこころんの様子

## 子ども・子育て支援は

がいることも事実である。高齢者の方々の移動手段の確保に向けては、バス事業者のみならず、タクシー事業者等、民間事業者の方々の意見やコストとのバランス等総合的に勘案しながら、市民の皆さまにとってよりよい公共交通体系となるよう在り方を検討してまいりたい。

議員 来年度いよいよ「子育て世代包括支援センター」が発足する予定であるが、庁内の空きスペース等ではなく、ゆったりとした、プライベート

シールにも配慮した場所への設置を願う。また、併せて必要とされるのが「産後ケア」の取組である。育児不安や母親の孤立化など多くの課題を抱える母親は増えており、少なくとも出産後一カ月は心身とも十分な回復が必要と考える。安心して疲労の回復ができる仕組みを作ることも重要な子育て支援と考えるが市長の見解を伺いたい。

健康福祉部長 子育て世代包括支援センターの設置形態は、妊娠期から子育て期までの母子保健や育児に関する様々な悩みに専門の相談員を配置し、支援体制を構築する母子保健型を考えている。

また、子育て支援センターこころんの機能も取り入れた一体的な支援体制について検討している。

産後ケア事業については、宿泊型、デイサービス型の委託先については、産科の医療機関等となるが、二市三町で連携を深めながら、広域での委託を検討してまいりたい。

- その他の質問項目
- ① 産業再生・創生は
  - ② 夢と希望、空間創出は
  - ③ 地域創意工夫は など

## 施政方針に対する質問



日本共産党 塩釜市議員 伊勢由典

## 国の経済財政方針と本市の諸課題は

議員 本年6月に閣議決定された経済財政運営と改革の基

本方針2019では、「我が国経済はデフレではない状況を作り出し、GDPは名目・実質ともに過去最大規模で雇用・所得環境は大きく改善した」としているが、市長の施政方針に対して、次の3点について伺う。①経済財政運営と改革の基本方針2019に対する見解②国民の約6割が反対している消費税の10%への増税に対する市長の考えと市政運営について③本市の抱える諸課題について。

市長 ①持続的かつ包括的な経済成長の実現と財政健全化の両立を目指す国の政策の基本骨格である。日本経済全体の雇用・所得環境は改善していると認識しているが、本市の経済状況は依然として厳しいものと捉えている。②年末

にかけて経済・景気の動向を注視し、地域にどのような需要があるか研究する。③喫緊の課題は人口減少と少子高齢化である。新たな定住促進策のみならず、子育て支援の充実等本市の魅力を高め、いつまでも住んでいたいと思っただけの地域づくりが重要であると考えている。

## 産業の再生と創生は

議員 施政方針では、「外国人技能実習生等の働き手の確保や販路開拓等の経営の安定化に向けた支援に取り組み、産業の再生と創生を実現する。

門前町として栄えた地域の魅力を活かし、関係する方々と連携した魅力ある店舗づくりや空き店舗の再活用策等門前町の再生に向けた取組を検討する。」とされているが、次の3点について市長の見解を伺いたい。①市民の暮らしと地域経済の実情について②本市の賑わいはなぜなくなったのか③2割増商品券の再開について。

市長 ①一部に持ち直しの動きがみられるが、いまだ、厳しい状況が続いている。また、水産業・水産加工業においては、原材料の高騰など厳しさが増しており、支援策や今後の方向性を見出し、スピード感を持って取り組みたい。

産業環境部長 ②買い物の仕方が郊外型になったこと等や、人口流出が加速し、商店街の空洞化に伴いにぎわいが衰退したと認識している。③4年間実施したが、小規模事業者サポート補助金事業により商店の持続的な経営をつなぎ合わせている。

- その他の質問項目
- ① 教育力の向上は
  - ② 子ども・子育て支援は
  - ③ 公共施設の在り方は など



景観整備が期待される門前町



創生会

山本 進

### 『勇往邁進』の心は

議員 「塩竈物語」の注目課題について、市長の座右の銘は「勇往邁進」とされているが、少子高齢化が深刻となり、過去経験したことのない、自治体運営に遭遇することが危惧される。

### 『現代版寺子屋』とは

議員 学校教育の枠にとらわれることなく、地域で子供を育てる、という極めて大きな事業構想と受け止める。

塩竈の歴史は古く、藩政年間から三百有余年、東日本における経済・物流の一大拠点であった。歴史から学ぶべきものはしっかり子供たちに伝え、市長の提唱する「シビック・プライド（郷土の誇り）」の意識醸成に資すると考える。既に進めている学習支援策をも含めた総合的な「人づくり」を目標とした「現代版寺子屋」制度を期待する。

そのための「人財」と「受皿」についての具体的な市長の考えを伺いたい。

市長 理想的な「現代版寺子屋」は議員の気持ちと全く一緒である。

ただ、これまでの事業との整合性について、教育委員会を初め関係部署と協議を深め、よりよいものに少しずつ育て上げていく視点も大切である。一人でも多くの方々に塩竈に住み続けたいと感じていただけるよう、アンケートの結果分析からも塩竈に愛着や誇りを感じる市民の割合をまずは、7割以上とすることを目指し、努力する。

その他の質問項目

- ① 子育て世代包括支援センターは
- ② 浦戸再生プロジェクトは
- ③ コンパクトシティ塩竈は など



わくわく遊び隊の様子



創生会

志賀 勝利

### 市長の政治姿勢は

議員 塩竈市長選挙への立候補に当たっては、当然ながら前市政に対して問題点があることから考えるが、その政策の違いは何か伺いたい。

がれき処理問題については、市長もある程度の認識を持っていると思う。連絡協議会の下請け企業が作業員を使用せずして3億円を超える、請求書を協議会に提出している。さらにこの下請企業の請求の中身を見ると、使用重機の数量、ダンプの数量が運転手の2倍、3倍の数量で請求されている事実がある。

この事実関係を調査する意思はあるのか伺いたい。

市長 まずは現状をしっかりと把握し、これまでの市政において改めるべきところがあれば、勇気をもって大いに変革する。

未来志向で塩竈のまちづく

### 力強い塩竈は

りを考えており、公約実現が市民に対する一つの責任として全力で行政運営に取り組みがれき処理問題は議員が様々な形で取り組んできたことを承知しており、様々な問題点を指摘したことも拝見している。市長となった今、市職員とよく精査し、進めるのが現状の答えになるかと思う。

議員 基幹産業の水産業・水産加工業の再生方法について、①水産業のICT（情報通信技術）化の一端として整備した「みなと塩竈旨いもんおい



さらなる充実が求められる「みなと塩竈旨いもん」ホームページ

施政方針に対する質問

「しおがま」のホームページを見たことがあれば、その感想を伺いたい。

② 4000万円もの税金を投入した塩竈水産品ICT化事業は、残念ながら初期の目的が果たされておらず、更なる改良が必要だが見解を伺う。

③ 漁船誘致も関係者と長年取り組んでいるが、成果としては今一歩である。改善策をどうするべきか見解を伺いたい。

**市長** ①基本的には「BtoB」（企業間向け）と感じ、ビジネスにどのような形でマッチングできるかというサイトで塩竈市内に数多くある水産加工品を知ってもらおうツールとして必要と認識している。

**産業環境部長** ②海外販路開拓として特に東南アジア圏にターゲットを絞り、成果があったことから継続して応援できる体制を模索している。

**市長** ③早速自ら入港船に挨拶し、要望もいただいた。現場に赴く大切さを痛感しており、様々な形で塩竈の港に船が入る努力を重ねたい。

その他の質問項目

- ① 市立病院の在り方は
  - ② 商店街の再生は
  - ③ 商工業の振興策は
- など



オール塩竈の会

阿部 眞喜

### 教育の向上は

**議員** 先日行われた全国学力テストにおいて、市内の小学校の成績が全国平均を上回ったとの嬉しいニュースがあり、教育委員会や現場の先生のご尽力の賜物と感謝する。

今後、より良い教育現場を目指し、施政方針に記されている教育の方針について次の3点を伺いたい。

①現代版寺子屋についての詳しい内容は

②教育の電子化について、普及率と整備状況は

③教育現場の現状と改善について、バス通学の小学生に対する補助制度の創設は可能か

**市長** 地域全体で子供を育てる視点を大切にしており、保護者や地域の皆様方の協力を得ながら、学校教育を下支えする仕組みを地域の中に設けることを目的としている。

**教育長** ②国で学校教育の情

## 施政方針に対する質問

報化推進の施策としてデジタル教科書の無償供与や制度検討をしており、今後検討する電子黒板は各学校に一台ずつ配備されている。

③第二小学校の児童27名がバス通学をしているが、国の遠距離通学児童制度の基準があり、保護者の皆様に負担いただいているのが現状である。

### 産業再生・創生は

**議員** 現在、水産業・水産加工業を取り巻く環境はとても厳しい状況にある。

原材料の高騰や関西方面において東日本大震災で失った



みなと塩竈ゆめ博（酒蔵巡り）

販路が未だ取り戻せていない。今後、どのように産業再生をしていくのか伺いたい。

また、「稼ぐ観光」とあるが、観光業をより伸ばすために、予算が足りないと感じる。観光業をより一層盛り上げるために観光予算の拡充ができないのか見解を伺いたい。

また、現在の観光事業の予算とその経済効果を伺う。

**市長** 販路の拡大について、本市には地元出身の大きな商社があり、その豊富な経験と国内外の販路を有する民間の協力をいただき、最大限に活用する方策を様々な形を通じて、議会と一緒に取り組みたい。それだけ厳しいという状況認識がある。

「稼ぐ観光」について、観光産業は、一番裾野に広い、波及効果が高い産業である。議員の観光への予算配分への指摘は非常に重要であり、しっかりと検討していく。

**産業環境部長** 観光事業は決算ベースで約4100万円、約81億円の経済効果である。

その他の質問項目

- ① 健康寿命の延伸は
- ② 子ども・子育て支援は
- ③ 浦戸振興は



オール塩竈の会

志子田 吉晃

### 庁舎の再編・東屋の設置は

**議員** 公共施設の最適化及び高齢者に配慮したやさしいまちづくりについて、次の2点について伺いたい。

①庁舎の再編に向けた検討は、今すぐ始めるべきと考えるが、市長の考えと夢は。

②東屋の設置はどのように行うのか。高齢化が進み、バス停にも東屋の設置が必要と考えるが、市民サービスのために行うことは何か。

**市長** ①市役所庁舎が分散しており、市民の皆様に変なご不便をおかけしている。

本庁舎は、築約60年が経過し、長期的な視点に立つて方向性を検討するべきで、PFIやリースバック等、よりコストパフォーマンスが良いものを検討してまいりたい。

②東屋の設置については、鹽竈神社前の北浜沢乙線歩道は、塩竈百人一首古歌版等が整備



門前町再生に向けた取組 まちかど博物館 (旧ゑびや旅館)

## 門前町の再生は

され、多くの市民や観光客が、門前町の風情を楽しむ空間であり、モデルケースとして、東屋等を設置し、歩道を散策する際の休憩所等で活用できるように県に働きかけてまいりたい。また、バス停への東屋の設置も付近の道路状況等を踏まえ、整備の可能性を検討してまいりたい。

議員 門前町の再生について、どのように取り組まれるのか。次の2点について、伺いたい。  
①「みやぎの台所・しおがま」をどのようにPRしていくのか。

か。  
②まちづくりという観点から、本町周辺に新たな駐車場スペースや一方通行の解消等、そのビジョンは。

市長 ①「みやぎの台所・しおがま」のPRについては、本市の顔となる観光拠点としての鹽竈神社と本市の特色である「社（やしろ）」「塩づく

り」「酒造り」が色濃く残る西町・宮町・本町等の門前町としての雰囲気等を醸しだせるような地元や関係者の方々からのご意向を踏まえ、再生に取り組んでまいりたい。

②本町周辺の新たなバス駐車場の整備は、観光客の皆様への有効な方策であると考えている。高齢者の方々が、御釜神社や酒蔵等を歩いて観光し、お土産の購入や休憩等がしやすいようにするなど、鹽竈神社周辺の門前町としての機能を高める発想が必要であると考へており、今後、丁寧に議論を重ねながら、検討してまいりたい。

- その他の質問項目
- ①「コンパクトシティ塩竈」は
  - ②「健康寿命の延伸」は
  - ③市立病院の役割は

## 人口減少抑制のためには



オール塩竈の会  
鎌田 礼二

議員 喫緊の課題である人口減少・少子高齢化に対する方策について、次の3点を伺いたい。

①今年度から実施した「空き家バンク制度」の状況は。

②他市町村に負けない飛び抜けた人口増加策を5つ以上打ち出し、公共交通機関等の中吊り広告を利用しPRしてはどうかと6月定例会で提案したが、その後の経過は。

③平成26年9月定例会で「東松島市宮戸・寒風沢間架橋（命の橋）実現に向けての決議」が全会一致で可決された。市の島内架橋優先の方針を变えるべきと考へるがどうか。

市長 ①今年7月に実施して間もないことから、物件登録が1件、利用登録が2件にとどまっている。

②本市の人口は、第5次長期総合計画の目標人口数値を割

り込んでおり、子育て支援等のさらなる取組が急務であると捉えており、PR方法についても先進地の事例を研究してまいりたい。

## 市立病院の今後は

院への線出しをなくし、数々の人口増加策を打ち出すことが何よりも大事なことを考へる。  
市立病院は、新改革プランに則り、改革を進めているが、繰入金金は、毎年7億円にもなっている。公立病院としての役割はすでに終えているものと思えるが、市長の見解を伺いたい。

議員 本市にとって大事な時期であり、大きな問題として捉えているのが、「市民人口減少」と「市立病院の行方」である。一般会計から市立病

院 本市にとって大事な時期であり、大きな問題として捉えているのが、「市民人口減少」と「市立病院の行方」である。一般会計から市立病

また、市立病院ができた当時と、現在では、周辺環境も大きく変化をしているものと認識し、捉えている。これまでの議会との議論を踏まえ、まずは、市立病院関係者の声を聞き、地域医療構想との整合性や、これまでの経緯・経過を検証すべきと考へる。今後の市立病院のあり方について、方向性が見出せるよう丁寧に進めてまいりたい。

- その他の質問項目
- ①教育力の向上は
  - ②塩竈の歴史・文化の継承は
  - ③魚市場は



塩竈市立病院

# 議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成  
 ×：議案等に対して反対  
 -：除斥  
 /：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号 議案名	会派名 議員氏名	公明党			日本共産党 塩釜市議団			創生会			オール塩竈の会						審議結果		
			浅野敏江	小野幸男	菅原善幸	曾我ミヨ	伊勢由典	小高洋	辻畑めぐみ	志賀勝利	今野恭一	伊藤博章	山本進	土見大介	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男		阿部眞喜	鎌田礼二
9月臨時会	議案第59号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
9月定例会	認定第1号	平成30年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について	○	○	○	×	×	×	×	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第2号	平成30年度塩竈市立病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第3号	平成30年度塩竈市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
	議案第60号	塩竈市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第61号	塩竈市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第62号	塩竈市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第63号	塩竈市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第64号	塩竈市水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第65号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第66号	令和元年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	×	×	×	×	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第67号	令和元年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第68号	令和元年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第69号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第70号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第71号	教育委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	同意	
議案第72号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	同意	

## 人事

次の3件の人事案件に同意しました。

- 監査委員の選任  
福田 文弘 氏
- 教育委員会の委員の任命  
松田 攝子 氏
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任

市議会だより第219号をお届けいたします。

全国的に議員のなり手不足が深刻となっており、本市議会では、市民に常に身近であり、市民の負託に応えられる、開かれた、魅力ある議会となるよう、日々運営に努めて参ります。

ご意見ご感想等、お気軽にお寄せ下さい。

議会報編集委員会  
委員長 土見大介  
副委員長 小高洋介  
委員 佐久間志保子氏  
委員 佐々木和夫氏  
委員 大友洋氏  
委員 土井儀憲氏

## 市議会会派構成

9月11日現在の会派構成（届け出順）は次のとおりです。（○は会派の代表者）

**公明党（3名）**

○ 浅野敏江 小野幸男 菅原善幸

**日本共産党塩釜市議団（4名）**

○ 曾我ミヨ 伊勢由典 小高洋 辻畑めぐみ

**創生会（5名）**

○ 志賀勝利 今野恭一 伊藤博章 山本進 土見大介

**オール塩竈の会（6名）**

○ 香取嗣雄 阿部かほる 西村勝男 阿部眞喜 鎌田礼二 志子田吉晃

編集後記